

「ジャパン・クリエイティブ・センター」について

平成19年11月

本年3月の日シンガポール首脳会談において、シンガポール側より、東南アジア向けの日本の文化情報発信拠点として「日本センター」をシンガポールに設置してはどうかとの提案があり、「日本センター」の実現に向けて、両国で協議しつつ検討を進めることで一致した。

その後の協議・検討の結果、今回の首脳会談で、「ジャパン・クリエイティブ・センター」の早期設置が合意された。今後、シンガポール政府提供の施設において、どのような活動を展開するかについて日本側が中心となって検討を進め、シンガポールと協力して、設置に向けた具体的な作業を進めることとなる。

現時点における本件センターに関する考え方は、次のとおり。

1. **基本コンセプト**： 日本の魅力の体感スペース
2. **意義**： 1つの施設の設置によって3つの意義を達成。一石三鳥の施策。
 - ① アジア外交上の意義： 東南アジアにおいて日本のプレゼンスを示す。
 - ② 対外発信上の意義： 洗練された良質な「日本」をオール・ジャパンで発信し、アジアの未来スタイルを日本がリード。
 - ③ 産業上の意義： 民間活力を最大限に活かし、日本の魅力を伝えるクリエイティブな産業のビジネス機会につなげる。
3. **事業方針**
 - ① 現代の「日本」の魅力を感じてもらう。

アジア一流の日本のセンスの良いおしゃれなスタイルをデザイン、ファッション、アニメ・マンガ、音楽等の多様な形で伝える。
 - ② みんなが集まる面白い企画・イベント

常設展だけではなく、魅力ある企画展・イベントを随時実施していく。
 - ③ 日本の力を幅広く結集

民間の知恵と活力を導入し、オール・ジャパンの連携体制を構築していく。
→ 世界的に著名な産業デザイナーである喜多俊之氏の助言を得る予定。我が国の国際文化交流の専門機関である国際交流基金をはじめ、広く官民の協力を得ていく。
4. **施設**： シンガポール政府の提供するオーチャード・ロード（シンガポールの目抜き通り）近辺の、1階平屋建ての民家を使用する方向で検討中（右図参照）。

